

事業承継型 M&A にセカンド・オピニオンを提供
代理人型アドバイザーによる「M&A 顧問サービス」を開始

事業承継型 M&A で代理人型アドバイザー（仲介ではなく、オーナー専属のアドバイザー）業務を展開する株式会社プルートス・マネジメントアドバイザー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：門澤 慎 以下、「PMA」）は、中小企業の M&A を対象に、「M&A 顧問サービス」の提供を開始しました。

M&A における情報格差を解消し、オーナーが納得できる M&A プロセスで取引が行われるようサポートします。

1. サービス内容

概要	進行中の M&A やこれから M&A を検討する中小企業に対する、M&A の進め方やご不明点に対して専門的助言を行うサービス
サービス内容	1. M&A 専門業者からの提案に対しての検討サポート 2. 進行している M&A プロセスで発生するご不明点に関する助言サポート 3. 株式価値評価についての助言・検討サポート 4. 弁護士・会計士・税理士等の各種専門家の紹介 5. M&A 戦略の策定やその後の進め方等に関する助言
料金	月額制（20 万円） 電話やメール、ご面談等で随時ご相談 ※サポートの内容により別途お見積り

2. サービス開始の背景

事業承継問題が社会問題化している中、M&A を活用した親族外事業承継が活発化しています。しかし M&A アドバイザーには国家資格や能力条件、実務経験がなくとも誰もが M&A アドバイザーを名乗れるため（不動産業界では国家資格である宅地建物取引士の資格制度がある）、M&A 会社によってはアドバイスの質に問題があり、中小企業庁が 2020 年 3 月に公表した「中小 M&A ガイドライン」でも注意喚起がなされています。

また親族外事業承継における M&A では仲介会社が増えるケースが多いですが、仲介会社は売り手と買い手の双方から報酬を受領するため、利益相反の問題もしばしば指摘されます（特にリピーターになり得る、買い手の利益を優先する動機がある等）。

この点、中小企業庁が 2020 年 3 月に公表した「中小 M&A ガイドライン」では、セカンド・オピニオンの活用を推奨しています。

セカンド・オピニオンとは、中小 M&A を行おうとしている者が支援機関と契約を締結する際や、支援機関から受けた助言の内容の妥当性を検証したい場合等に、他の支援機関から意見を求めることをいう。

引用：中小企業庁「中小 M&A ガイドライン」

また、仲介者が参考資料として自ら簡易に算定（簡易評価）した、概算額・暫定額としてのバリュエーションの結果を両当事者に示す場合には、以下の点を両当事者に対して明示すべきである。

- ・あくまで確定的なバリュエーションを実施したのではなく、参考資料として簡易に算定したものであるということ
- ・当該簡易評価の際に一方当事者の意向・意見等を考慮した場合、当該意向・意見等の内容
- ・必要に応じて士業等専門家等の意見を求めることができること

引用：中小企業庁「中小 M&A ガイドライン」

そのため、株式価値評価の専門機関である株式会社プルートス・コンサルティング（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：野口 真人）のグループ会社で、公認会計士を中心とする資本政策及び事業戦略に熟知したメンバーにより構成された、代理人型のアドバイザー業務を展開する PMA が、すでに進行している M&A の進め方、提案されている株価、デューデリジェンスの進め方、基本合意書や株式譲渡契約書の内容等について、M&A 顧問として専門家の立場からご不明点にお応え致します。またこれから M&A を検討したいといった会社様に対しても、M&A 戦略や検討プロセスについて、アドバイスを致します。

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社プルートス・マネジメントアドバイザー 門澤 慎

TEL：03-3502-1223 MAIL：monzawa@plutusmaad.jp

会社名：株式会社プルートス・マネジメントアドバイザー

URL：<https://plutusmaad.jp/>

所在地：東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング 30階

電話番号：03-3502-1223

FAX：03-6206-1314

代表者：代表取締役社長 門澤 慎（公認会計士）

事業内容：■親族外事業承継に対する M&A アドバイザリー業務

■ベンチャー企業に対する M&A アドバイザリー業務

■上場企業の組織再編に係る M&A アドバイザリー業務

■M&A 顧問サービス業務